



証券コード：7408

株主のみなさまへ

第73期
中間報告書

平成24年4月1日▶平成24年9月30日

株式会社 **ジャムコ**

株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期（上半期）は、欧米での景気停滞、中国での景気鈍化など世界景気の先行きに対する不透明感が強まりました。国内においても輸出関連企業では、歴史的な円高水準も重なり今期の業績予想を下方修正する企業が増加するなど、厳しい経営環境が続いています。

航空輸送業界においては、競争激化や燃油価額の高止まりはあるものの、世界的に航空旅客需要は堅調で、航空機メーカーにおいては多くの受注残を抱え、増産への動きが活発化しています。こうした動きを受けて当社の航空機内装品事業では、ボーイング787をはじめとしたギャレー、ラブラトリーの増産に向けた準備を着々と進め、又、円高対応を含めた種々のコスト削減にも取り組んでおります。航空機器製造事業については、今期は熱交換器等の製造が繁忙を極めるなか、炭素繊維構造部材（ADP）及び航空機エンジン部品の製造ラインの移転先である宮城県名取市の新工場建設は順調に進捗しており、来年4月操業開始に向けて移転準備を進めています。航空機整備事業については、被災した仙台整備工場は昨年10月から操業を再開したものの、この上期においては受注不足等の影響が残り苦戦を強いられてきましたが、下期にかけては受注面においても本格的に回復してきました。当社グループでは、引き続き当初計画の達成に向けて努力してまいります所存です。

さて、当社グループの第73期中間決算（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）が確定いたしましたので、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役社長 鈴木善久

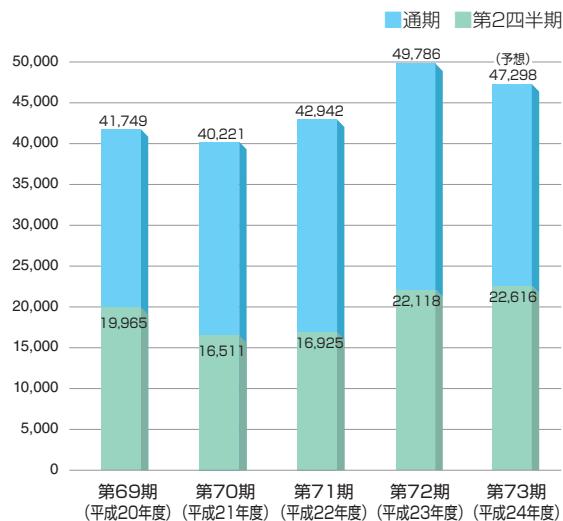
ジャムコ 経営理念

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

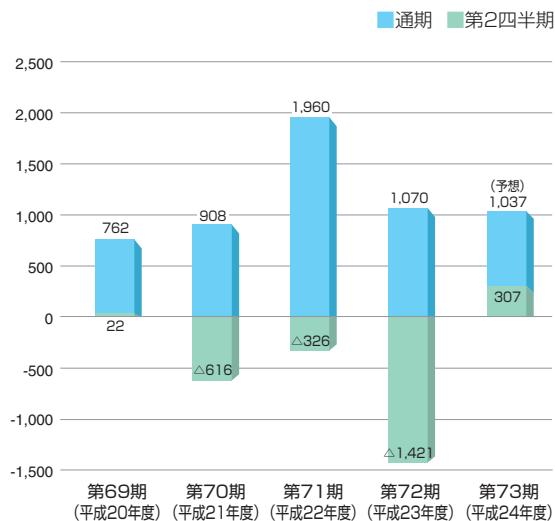
- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

業績の推移(連結)

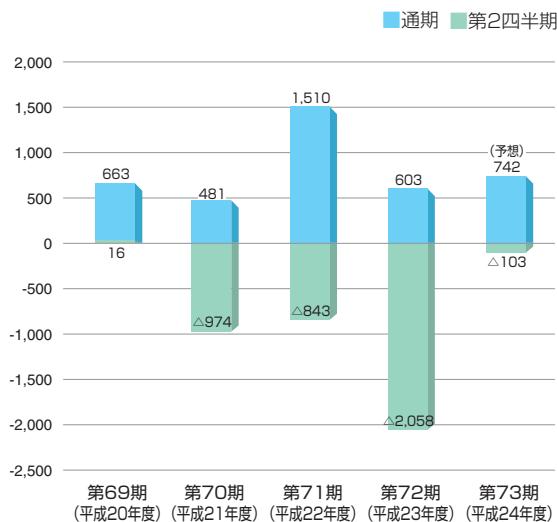
●売上高(単位:百万円)



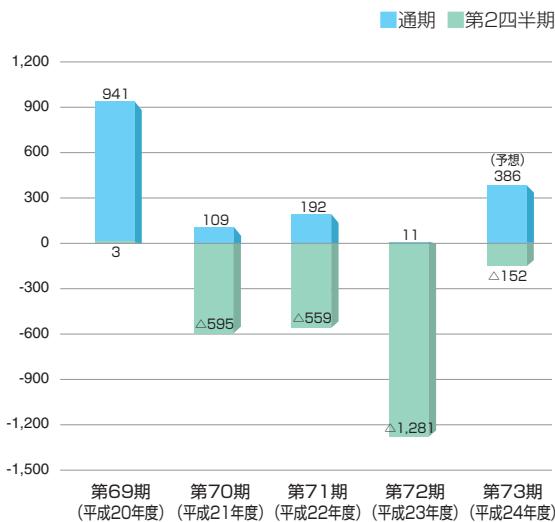
●営業利益(単位:百万円)



●経常利益(単位:百万円)



●純利益(単位:百万円)



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間は、米国における景気回復の遅れ、欧州の政府債務危機による景気低迷、中国などを中心とした新興諸国における景気の減速など、世界景気は依然として下振れが懸念される状況が続きました。国内においても、東日本大震災からの復興需要などを背景に景気回復の動きが続くと期待されていましたが、海外景気の減速やデフレの影響など先行きの不透明感が増してきました。又、前期末に一時円安へと向かった円相場は、欧州の財政不安などを背景に再び円高に転じて高止まりしており、輸出企業にとっては厳しい状況が続きました。

航空輸送業界では、国内でも複数の格安航空会社(LCC)が営業を開始するなど、世界的にLCCの業績は比較的好調ですが、大手航空会社はLCCとの競争激化や燃料の高騰などで厳しい経営を強いられており、燃費効率に優れるボーイング787などの次世代航空機の需要は益々高まってきています。機体メーカーのボーイングやエアバスでは、737やA320などの小型旅客機の大量発注を受けるなど受注は引き続き好調で、787をはじめとした中型機種を含めて、増産体制の構築を急いでいます。

こうしたなか当社では、内装品事業においては、787をはじめとした製品の増産対応と種々のコスト削減施策を推し進めました。機器製造事業においては、熱交換器等防衛関連の生産量増加に対応する一方、炭素繊維構造部材(ADP)及び民間航空機用エンジン部品の増産対応と生産効率をより高めるために宮城県の新工場建設を進めています。整備事業においては、震災の影響で減少した受注量に対して社内で人員を再配置して操業度を改善する一方、東南アジアなど海外からの装備品整備受注に向けた取り組みを進め、5月にEASA(欧州航空安全庁)より修理事業認可を取得しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 22,616百万円(前年同四半期比 497百万円増)、営業利益 307百万円(前年同四半期は、営業損失 1,421百万円)、経常損失 103百万円(前年同四半期は、経常損失 2,058百万円)、四半期純損失 152百万円(前年同四半期は、四半期純損失 1,281百万円)となりました。

航空機内装品等製造関連事業

当事業の方針

当社固有の技術と戦略的提携による他社の技術を総合的に融合し、航空機客室内の全装備品を網羅したトップメーカーを目指します。

当事業の業績の概要

当事業では、前年同四半期に比べジャムコアメリカの特需減少で全体の売上高は減少したものの、ギャレー、ラバトリー、スペアパーツの売上増加やコスト削減を推し進めたことで、為替差損はあったものの経常利益を確保しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 16,782百万円(前年同四半期比 278百万円減)、経常利益 16百万円(前年同四半期は、経常損失 1,718百万円)となりました。



ボーイング787搭載ギャレー



エアバスA380搭載特別仕様ギャレー



ボーイング747-8搭載ファーストクラス化粧室

航空機器等製造関連事業

当事業の方針

先端技術と熟練技能を融合させた高度な設計・生産技術を追求し、付加価値の高い製品及びサービスを顧客に提供します。

当事業の業績の概要

当事業では、熱交換器等の防衛関連部品の受注、生産ともに順調に推移し、前年同四半期に比べて売上高、利益ともに増加しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,682百万円（前年同四半期比 106百万円増）、経常利益 252百万円（前年同四半期比 234百万円増）となりました。



熱交換器の溶接



炭素繊維構造部材



宮城県名取市の新工場完成予想図（提供：大成建設株式会社）

航空機整備等関連事業

当事業の方針

飛行安全を基本に、継続性の高い事業を主体とすると共に、技術力主導の高付加価値を生む業務の比重を高めます。

当事業の業績の概要

当事業では、東日本大震災で被災した仙台整備工場が昨年10月より操業を再開したことから、売上高は前年同四半期に比べて増加しましたが、受注量不足による操業度の低下や採算性の悪い工事の完了など、震災の影響が残り経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,150百万円（前年同四半期比 668百万円増）、経常損失 379百万円（前年同四半期は、経常損失 365百万円）となりました。



リージョナル機の整備



救難用ホイストの整備



最新鋭大型旅客機の電動ブレーキ整備

連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (単位：千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	43,208,939	43,864,783
現金及び預金	1,838,249	2,902,373
受取手形及び売掛金	13,486,284	14,929,237
商品及び製品	645,419	80,998
仕 掛 品	13,844,794	13,828,965
原材料及び貯蔵品	9,832,312	8,449,699
そ の 他	3,569,212	3,682,353
貸 倒 引 当 金	△ 7,333	△ 8,844
固 定 資 産	13,578,125	13,004,808
有形固定資産	9,371,674	8,804,108
無形固定資産	1,141,287	1,027,877
投資その他の資産	3,065,163	3,172,822
資 産 合 計	56,787,065	56,869,592

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	31,026,834	31,487,074
支払手形及び買掛金	6,869,155	7,440,184
短期借入金	17,643,538	17,766,890
未払法人税等	305,911	108,981
賞与引当金	1,347,164	974,755
工事損失引当金	1,194,965	1,069,056
そ の 他	3,666,099	4,127,207
固 定 負 債	10,731,276	10,020,565
長期借入金	4,454,433	3,624,486
退職給付引当金	5,229,151	5,243,571
役員退職慰労引当金	409,826	415,890
環境対策引当金	66,406	66,406
そ の 他	571,458	670,210
負 債 合 計	41,758,110	41,507,640
(純 資 産 の 部)		
資 本 金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	5,482,614	5,715,126
自己株式	△ 29,607	△ 29,265
株主資本合計	15,180,893	15,413,748
その他の包括利益累計額	△ 559,803	△ 476,808
その他有価証券評価差額金	7,483	23,809
為替換算調整勘定	△ 567,287	△ 500,618
少数株主持分	407,864	425,012
純 資 産 合 計	15,028,954	15,361,952
負債純資産合計	56,787,065	56,869,592

■ 四半期連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売 上 高	22,616,312	22,118,954		
売 上 原 価	19,714,351	21,282,077		
売 上 総 利 益	2,901,960	836,877		
販売費及び一般管理費	2,594,304	2,258,823		
営業利益又は営業損失(△)	307,656	△ 1,421,946		
営業外収益	26,439	39,867		
受 取 利 息	871	3,122		
受 取 配 当 金	2,401	2,364		
持分法による投資利益	113	8,805		
保 険 配 当 金	1,356	5,965		
助 成 金 収 入	10,745	7,429		
そ の 他	10,950	12,179		
営業外費用	438,031	676,248		
支 払 利 息	145,458	151,917		
為 替 差 損	285,427	506,434		
そ の 他	7,144	17,895		
経 常 損 失 (△)	△ 103,935	△ 2,058,327		
特 別 利 益	824	122,371		
固 定 資 産 売 却 益	824	178		
補 助 金 収 入	—	15,625		
受 取 保 険 金	—	100,000		
そ の 他	—	6,566		
特 別 損 失	32,246	263,443		
固 定 資 産 処 分 損	661	225		
災 害 損 失	—	263,218		
投資有価証券評価損	31,585	—		
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 135,357	△ 2,199,399		
法人税、住民税及び事業税	278,197	64,493		
法人税等調整額	△ 270,844	△ 970,926		
少数株主損益調整前 四半期純損失(△)	△ 142,710	△ 1,292,966		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,321	△ 11,588		
四半期純損失(△)	△ 152,032	△ 1,281,378		

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,065	△ 127,428		
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 135,357	△ 2,199,399		
減 価 償 却 費	665,851	567,976		
引当金の増減額(△は減少)	476,878	448,834		
受取利息及び受取配当金	△ 3,273	△ 5,486		
支 払 利 息	145,458	151,917		
為替差損益(△は益)	21,424	34,190		
持分法による投資損益(△は益)	△ 113	△ 8,805		
売上債権の増減額(△は増加)	1,186,115	1,995,247		
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,138,813	△ 1,158,613		
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 423,658	807,959		
そ の 他	417,846	△ 326,246		
小 計	212,359	307,572		
利息及び配当金の受取額	15,767	13,069		
利 息 の 支 払 額	△ 154,587	△ 143,765		
そ の 他 の 収 入	19,528	134,985		
そ の 他 の 支 出	△ 2,027	△ 87,923		
法人税等の支払額	△ 37,974	△ 351,367		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,859,492	△ 566,396		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,677,015	△ 520,946		
有形固定資産の売却による収入	824	2,006		
投資有価証券の取得による支出	△ 1,342	△ 1,305		
貸付金の回収による収入	6,206	2,778		
貸付けによる支出	△ 1,487	△ 900		
そ の 他	△ 186,677	△ 48,030		
財務活動によるキャッシュ・フロー	812,328	△ 1,351,908		
短期借入れによる収入	7,490,613	6,771,606		
短期借入金の返済による支出	△ 5,363,562	△ 7,800,000		
長期借入れによる収入	1,200,000	—		
長期借入金の返済による支出	△ 2,324,966	△ 174,028		
リース債務の返済による支出	△ 108,525	△ 65,295		
自己株式の取得による支出	△ 342	△ 668		
配当金の支払額	△ 80,638	△ 80,650		
少数株主への配当金の支払額	△ 250	△ 2,870		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 70,025	△ 79,407		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,064,123	△ 2,125,140		
現金及び現金同等物の期首残高	2,902,373	3,451,451		
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,838,249	1,326,310		

株式の概況

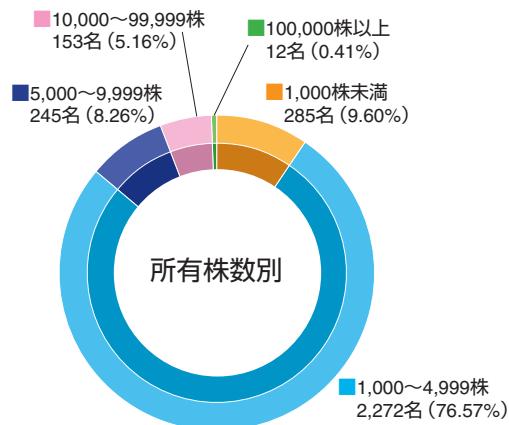
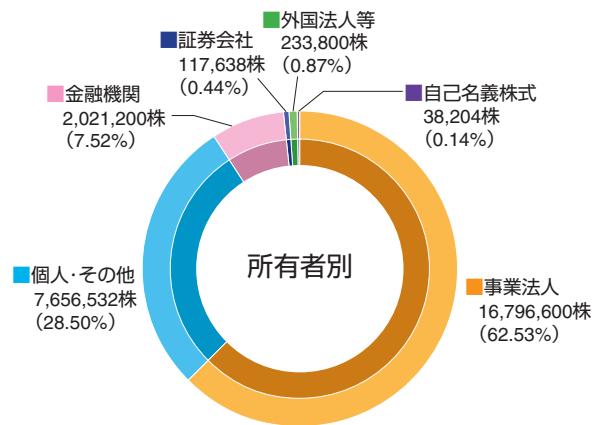
■ 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	26,863,974株
株主数	2,967名
上場証券取引所	東京証券取引所第2部 (コード番号7408)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	8,901	33.13
全日本空輸株式会社	5,373	20.00
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	761	2.83
ジャムコ従業員持株会	707	2.63
三菱商事株式会社	221	0.82
株式会社みずほ銀行	200	0.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	0.74
アクサ生命保険株式会社	148	0.55
東京海上日動火災保険株式会社	143	0.53

■ 株式分布状況



会社概況

■ 会社概要 (平成24年9月30日現在)

商号

株式会社ジャムコ

本社

東京都三鷹市大沢六丁目11番25号

設立年月日

昭和24年3月15日

創立年月日

昭和30年9月1日

主な事業内容

航空機内装品等製造関連事業

ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品等の製造

航空機器等製造関連事業

熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造

航空機整備等関連事業

航空機の機体、客室、装備品等の整備・改造

資本金

5,359,893千円

従業員数

連結：2,289名

個別：1,170名

■ 役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長

寺田 修

代表取締役社長

鈴木 善久

代表取締役副社長

佐久 文昭

代表取締役専務

河野 通秀

専務取締役

大倉 敏治

専務取締役

床鍋 秀夫

常務取締役

星野 信也

常務取締役

杉浦 勝利

取締役

比留間 正和

取締役

関川 安雄

取締役

小澤 発雄

取締役

木村 敏和

取締役

夏目 憲一

社外取締役

後藤 健太郎

社外取締役

大上 克裕

監査役

江上 良民

監査役

白水 茂喜

社外監査役

穂山 健太郎

社外監査役

河村 寛治

■ 子会社／関連会社の状況 (平成24年9月30日現在)

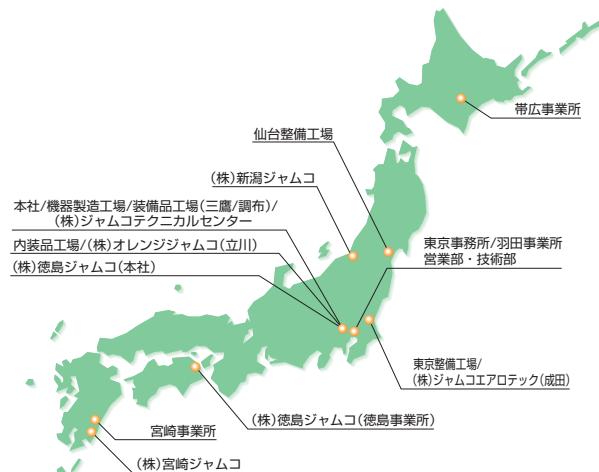
会社名	資本金	持株比率	主な事業内容
株式会社 新潟ジャムコ	300百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 宮崎ジャムコ	100百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 徳島ジャムコ	30百万円	100%	航空機、航空機装備品整備改造
株式会社 ジャムコエアロテック	30百万円	100%	航空機、航空機装備品整備改造
株式会社 オレンジジャムコ	10百万円	100%	航空機部品の組立補助作業等 (障がい者特例子会社)
株式会社 ジャムコテクニカルセンター	30百万円	100%	航空機内装品及び航空機製造 の新技術、新製品の開発等
JAMCO AMERICA, INC.	10,000千US\$	75%	航空機内装に関する業務 部品調達業務等
JAMCO EUROPE B.V.	181千EUR	100%	カスタマーサポート 部品調達業務等
JAMCO AERO DESIGN & ENGINEERING PTE LTD.	1,000千US\$	※1 5%	航空機内装に関する技術業務
JAMCO PHILIPPINES, INC.	43,000千PHP	※2 40%	航空機内装品製造
※3 SINGAPORE JAMCO PTE LTD.	4,400千SG\$	30%	航空機内装品整備及び製造

※1 連結子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は55%であります。
 ※2 連結子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は100%であります。
 ※3 持分法適用関連会社であります。



■ 事業所一覧

本社	東京整備工場
東京都三鷹市	千葉県成田市
東京事務所	装備品工場
東京都大田区	東京都調布市
[航空機内装品カンパニー]	仙台整備工場
内装品工場	宮城県岩沼市
東京都立川市	羽田事業所
[航空機器製造カンパニー]	東京都大田区
機器製造工場	宮崎事業所
東京都調布市	宮崎県宮崎市
[航空機整備カンパニー]	帯広事業所
営業部・技術部	北海道帯広市
東京都大田区	



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることが出来ない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社ウェブサイト (http://www.jamco.co.jp/) においてご覧いただけます。

(ご注意)

- 平成24年11月9日開催の取締役会決議により、1単元の株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、実施日は、平成25年2月1日であります。
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<http://www.jamco.co.jp/>

お問い合わせ先 広報・IR 経営企画部 Tel0422-31-6112

株式会社 **ジャムコ**

本社 〒181-8571 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
TEL 0422-31-9111

